

鵜南小学校等改築事業 基本設計

■鵜南小学校等改築事業に係る基本設計について

鵜南小学校は、老朽化が進んでいる施設の改築にあたり、近隣施設である浜見保育園、よつば児童クラブと一体的に**複合化施設として再整備する事業を進めています。**

平成29年度に、設計に着手する前段として、保護者、地域住民、教職員等の意見を集約し、「藤沢市立鵜南小学校等再整備基本構想」をまとめています。

平成30年度からは、この基本構想を基に、全面改築に向けた基本・実施設計を進めています。

■再整備の基本コンセプト

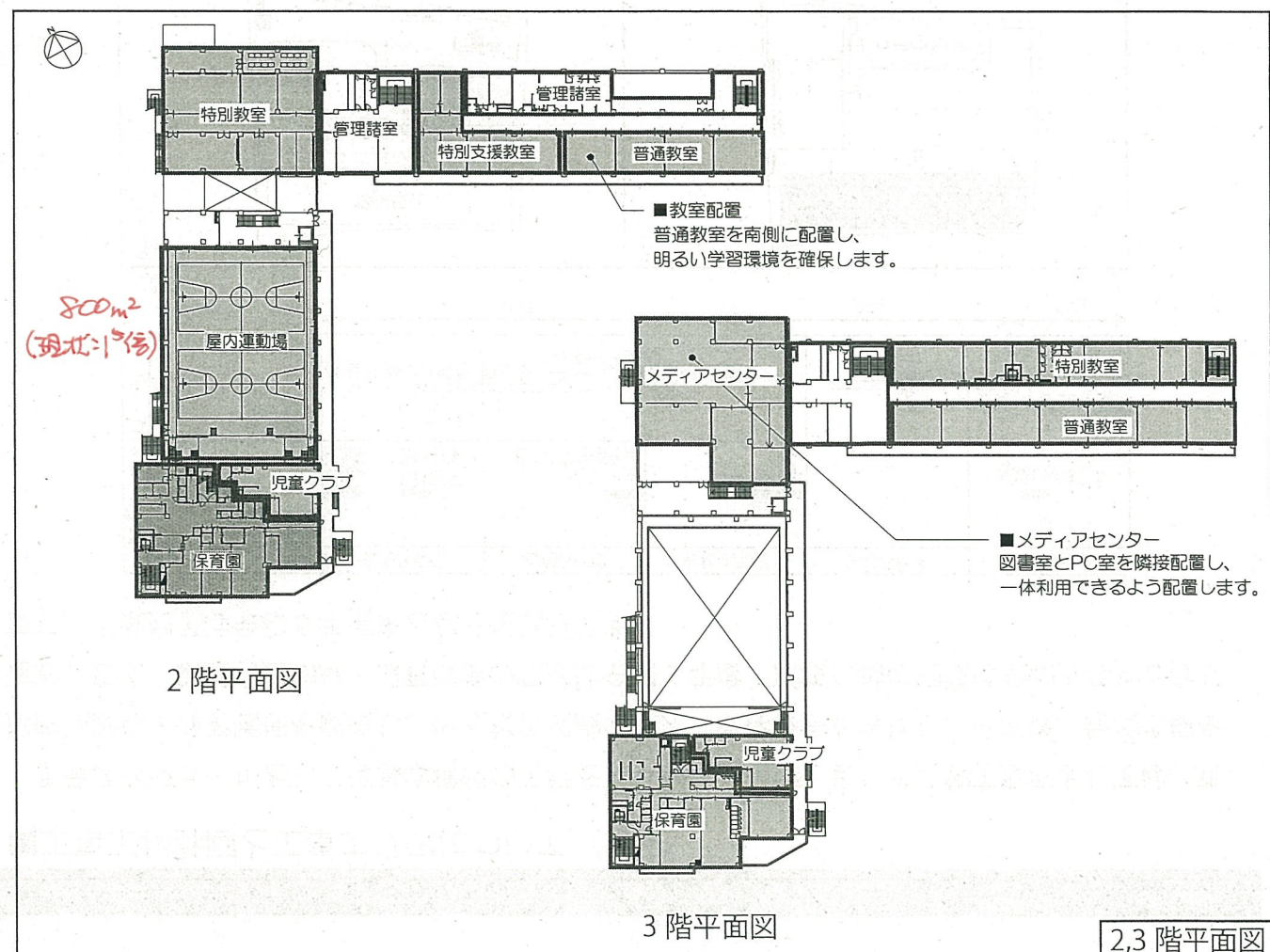
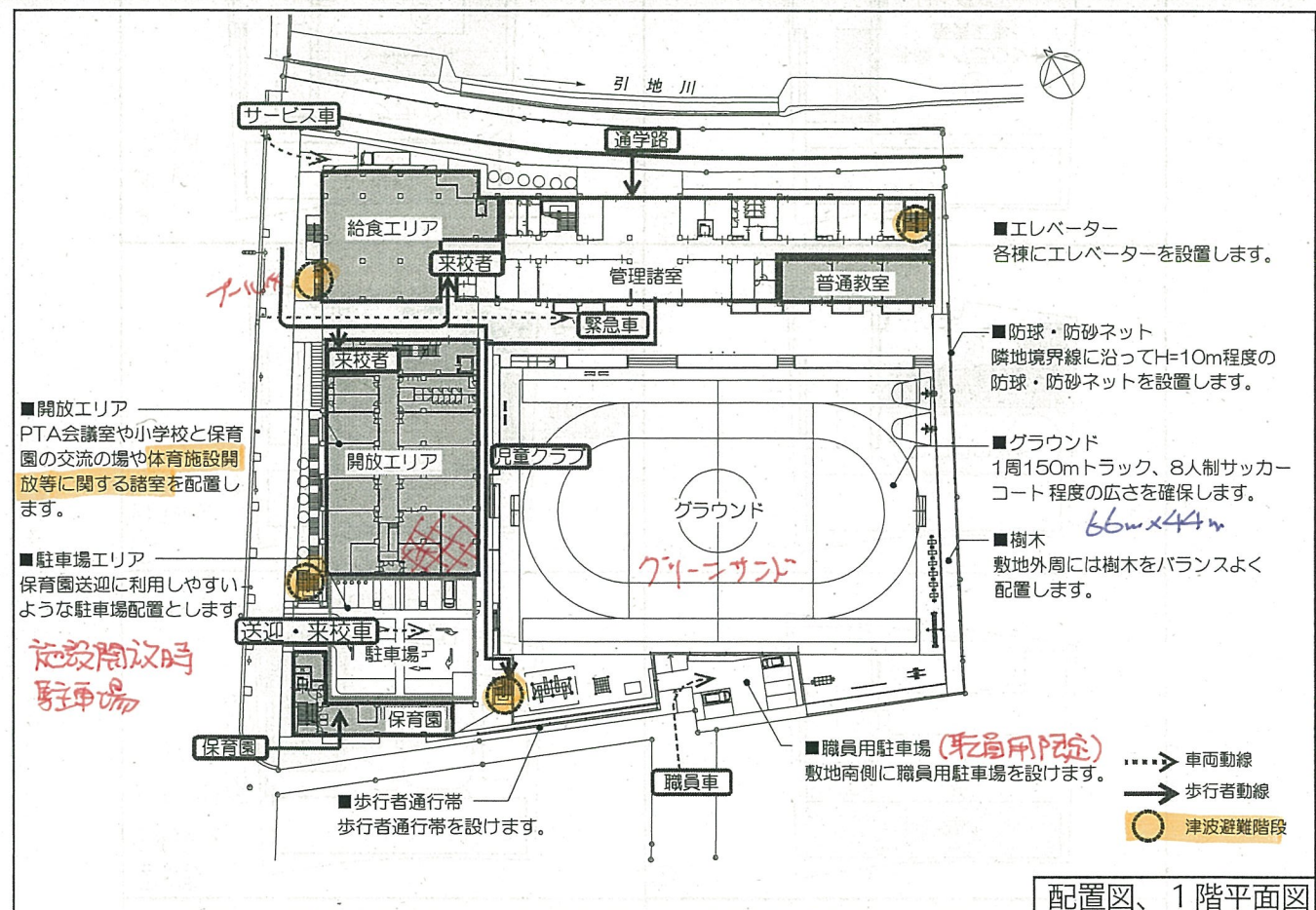
基本構想の7つのコンセプトを軸とし、基本設計では新たに4つのコンセプトを設定し設計を進めています。

○基本構想の7つのコンセプト

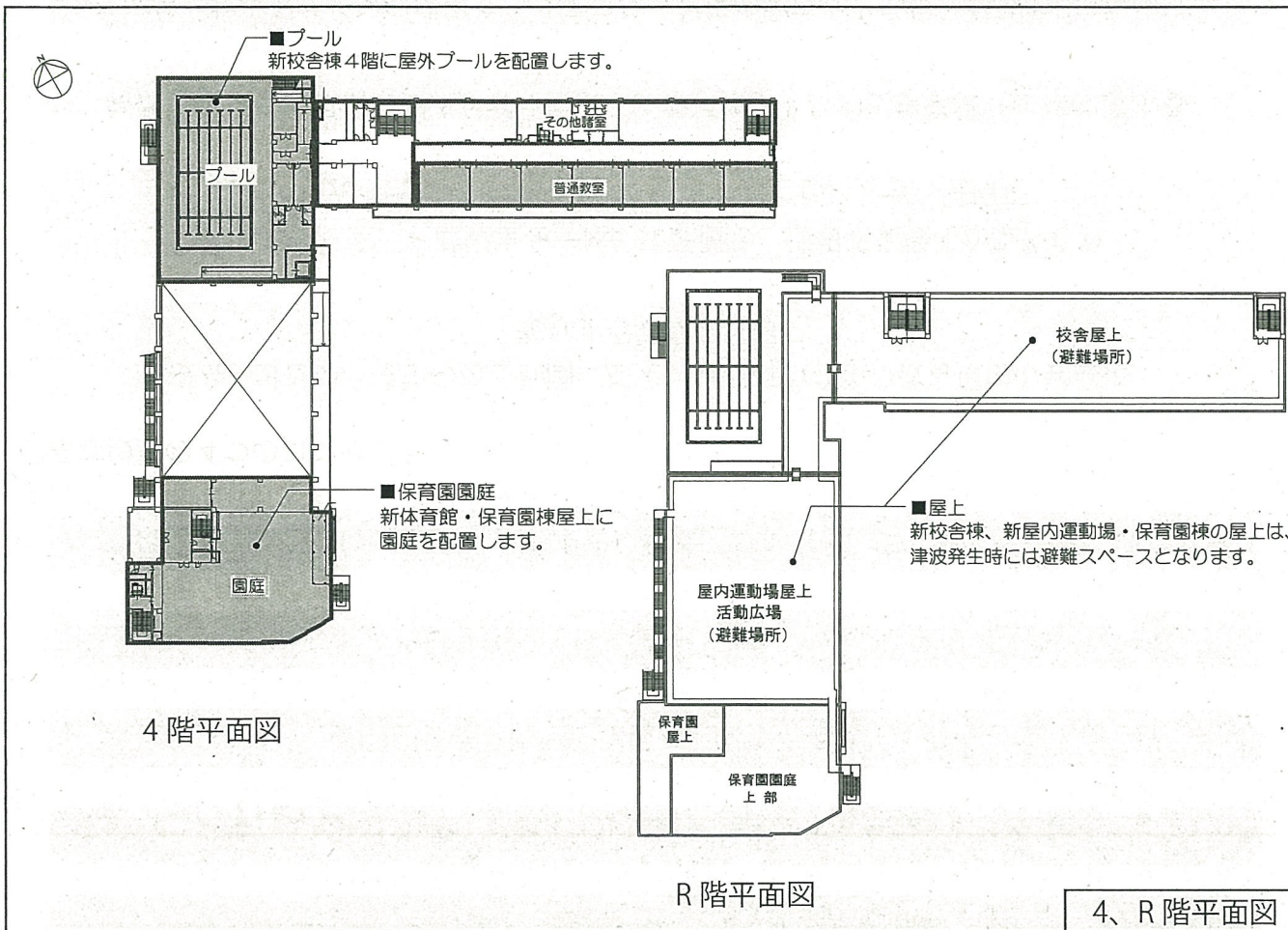
- 子供たちの安全・安心が保たれた施設とする
- 津波発生時の避難場所として安全・確実に避難できる施設とする
- 子供たちが健康で快適に過ごすことのできる施設とする
- 保小連携や地域連携の行いやすい施設とする
- 周辺住宅等の居住環境に配慮した施設とする
- 長期にわたり機能性を確保できる長寿命な施設とする
- 整備コストの低減や工期の縮減にも配慮した施設とする

○基本設計の4つのコンセプト

- 複合施設という特色のある計画に加え、藤沢市の今後の教育環境の発展に寄与する計画を目指す
- 図書室、PC室、視聴覚室を一体的に配置し、情報収集機能が集約された先進的な教育が実施できるメディアセンターを目指す
- 特別支援学級の児童の交流が増えるよう、普通教室と特別支援学級を隣接配置する
- ユニバーサルデザインの採用やバリアフリー対策の実施とともに、景観や町並みにも配慮した施設を目指す



2,3階平面図

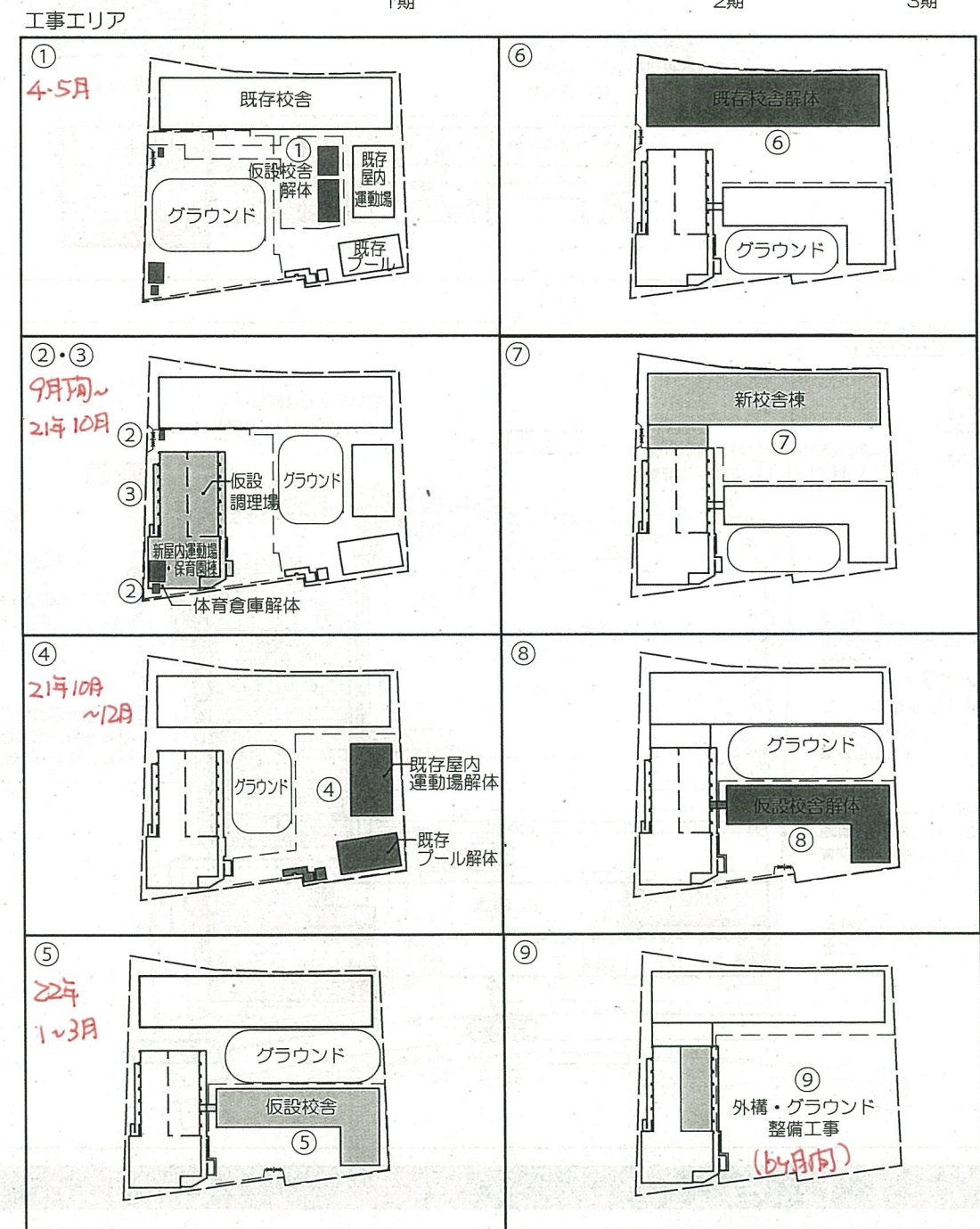


■工事工程計画と工事エリアについて (予定)

事業スケジュールとしては基本構想の工程をより詳細に検討しました。施工順序としては、新屋内運動場・保育園棟を建設し、仮設校舎建設のうえ、既存校舎を解体し、その後、新校舎棟を建設します。新屋内運動場・保育園棟の完成は令和3年度、新校舎棟の完成は令和6年度となります。事業完了は令和6年度末となる見込みです。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
解体工事		① 現仮設校舎解体	② 体育倉庫ほか解体	④ 現プール屋内運動場解体	⑥ 現校舎解体	⑧ 仮設校舎解体
建設工事		③ 新屋内運動場・保育園棟建設	⑤ 仮設調理場設置	⑦ 仮設校舎建設	⑨ 新校舎建設	⑩ 外構・グラウンド整備 多目的スペース等工事

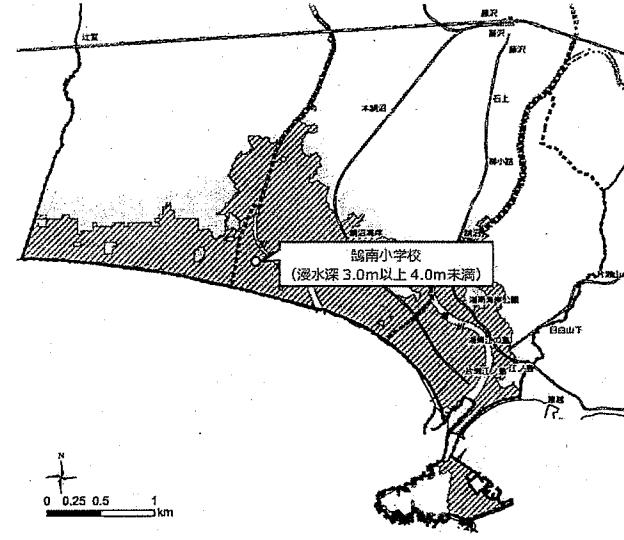
← 1期 → 2期 → 3期



■津波災害時避難計画

■想定津波の概要

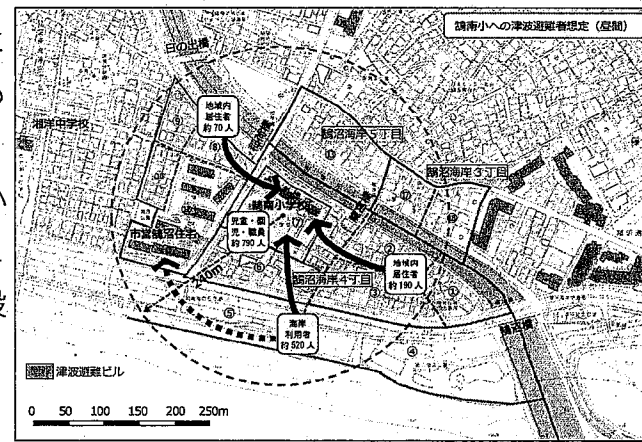
相模トラフ沿いの海溝型地震(西側モデル)	
震源域	相模トラフ
規模	マグニチュード8.7
震度	神奈川県全域で震度7
発生確率	30年以内ほぼ0%
第1波の到達時間	6分
最大津波高さ	藤沢海岸:8.8m(到達時間8分) 片瀬漁港海岸:7.9m(到達時間11分) 湘南港海岸:11.5m(到達時間12分)
最大浸水面積	4.7km ² ※鵠南小学校付近の浸水深3.0m以上4.0m未満
特徴	発生から40分後位まで繰り返し押し寄せる 20分後以降は高さ2m前後の津波である



■津波浸水想定区域

鵠南小学校は、浸水深 3.0m 以上、4.0m 未満と想定されています。地震発生後に避難開始できるものとしています。

最大津波到達時間に避難可能な距離は、鵠南小学校を中心に半径 60m ~ 240m となります。ここでは、半径 240m のエリアを避難対象エリアと設定します。



■避難想定人数

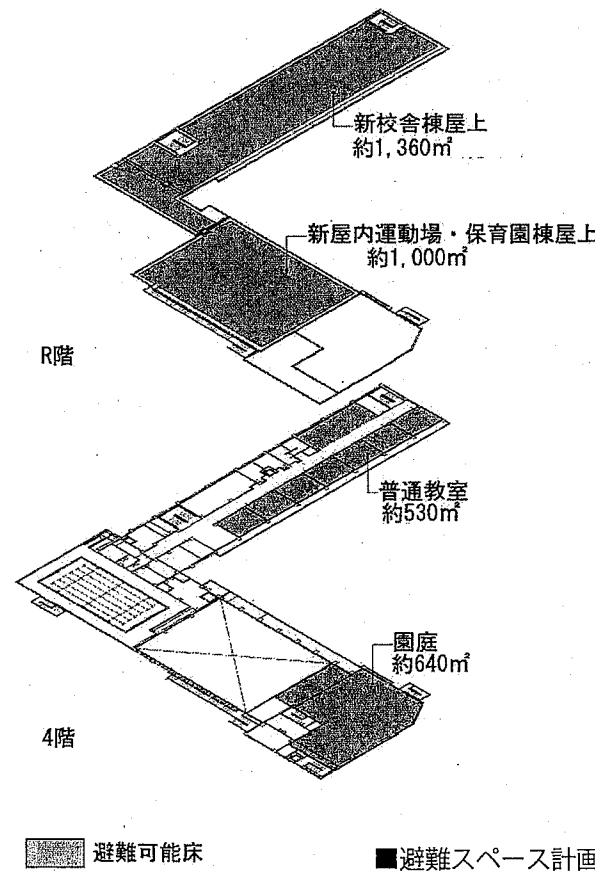
■想定津波の概要

避難想定人数は、児童、園児、職員が最も多く滞在している昼間の時間帯で、周辺の津波避難者の受け入れも含め、1570 人 (0.6 m² / 人) の津波避難者を受け入れるスペースを 4 階レベル以上に設ける必要があります。

■避難計画

4 階の普通教室、園庭、R 階の屋上部分を津波避難可能スペースとして計画します。各エリアの面積の合計で、必要人数の 3 倍以上が避難可能なスペースを確保します。

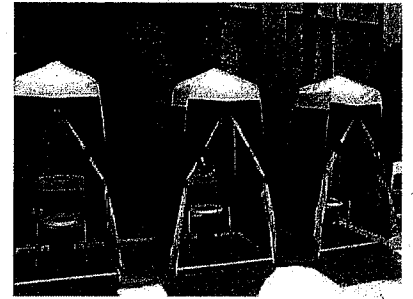
スムーズな避難を可能にするため、シンプルな動線計画とします。津波避難階段を分散配置し、どのエリアからも 4 階まで避難しやすい計画とします。



■防災計画

地域の防災避難施設として機能するための防災計画をします。

- ・分かりやすい避難動線計画
シンプルな動線計画、2 方向避難を確保することで、分かりやすい避難計画とします。
- ・防災備蓄倉庫
2 階、4 階に防災備蓄倉庫を計画します。2 階は屋内運動場に近く、物資の供給がしやすい計画とします。4 階は津波災害の時も物資の確保ができる位置に計画します。
- ・マンホールトイレ
1 階駐車場にマンホールトイレを設け、災害時におけるトイレ機能を確保します。
- ・かまどベンチ
校庭には普段はベンチとして使用し、災害時にはかまどとして使用できるかまどベンチを設置します。



■マンホールトイレ



■かまどベンチ

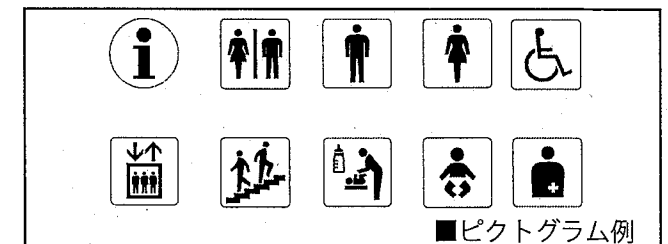
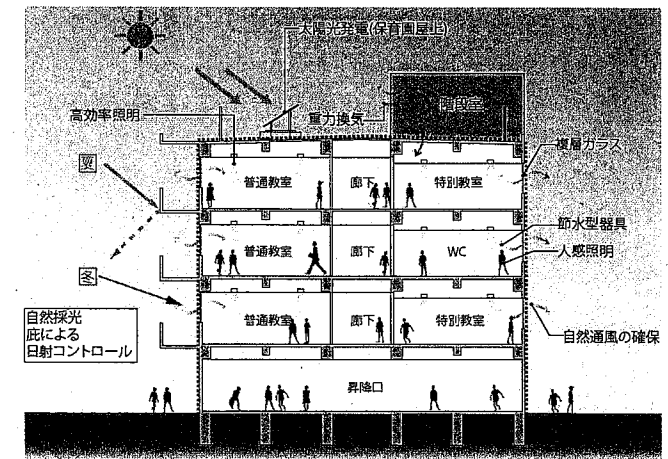
■環境配慮計画

建物に対する内外部の熱の流入を抑制するため、躯体や開口部の断熱性能を確保することや、冷暖房機器や照明による設備的な室内環境のコントロールと併せ、底による日射コントロールや、窓による自然採光・通風の確保、建物高低差による重力換気を積極的に採用することで快適でエコな環境を計画しています。

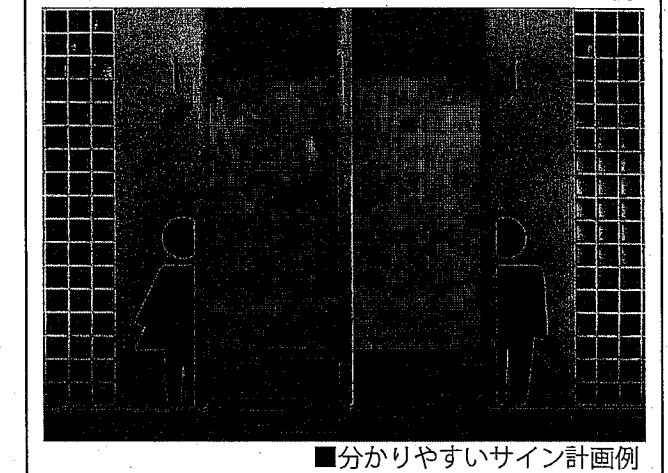
また、太陽光発電による創エネを行うとともに、高効率照明や人感センサーの照明の導入、節水型の衛生器具の導入により、消費電力や水の使用量の削減を行い、環境資源に配慮した計画としています。

■ユニバーサルデザイン

- ・誰にでも使いやすい施設
安全かつ円滑に学校生活を送ることができるよう、ニーズに応じた計画とします。スロープ、手すり、便所、出入り口、エレベーター等の計画に配慮します。
- ・安全な動線計画
児童、園児、来校者、車両動線を明確に分離します。交差が少ない動線計画とすることで、安全な動線を確保します。
- ・分かりやすいサイン計画
サイン、色彩、書体に配慮し、使いやすい施設計画とします。



■ピクトグラム例



■分かりやすいサイン計画例

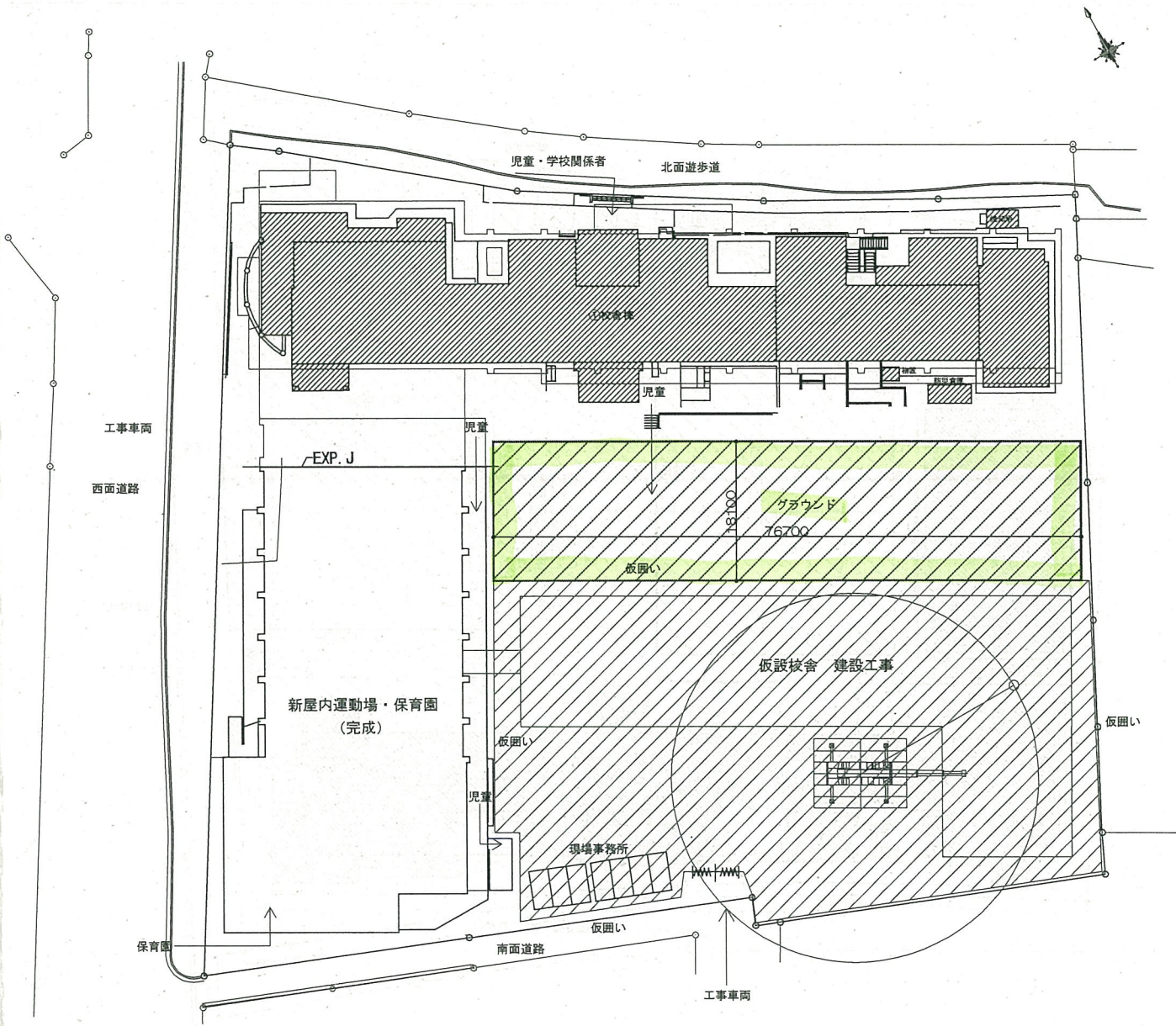
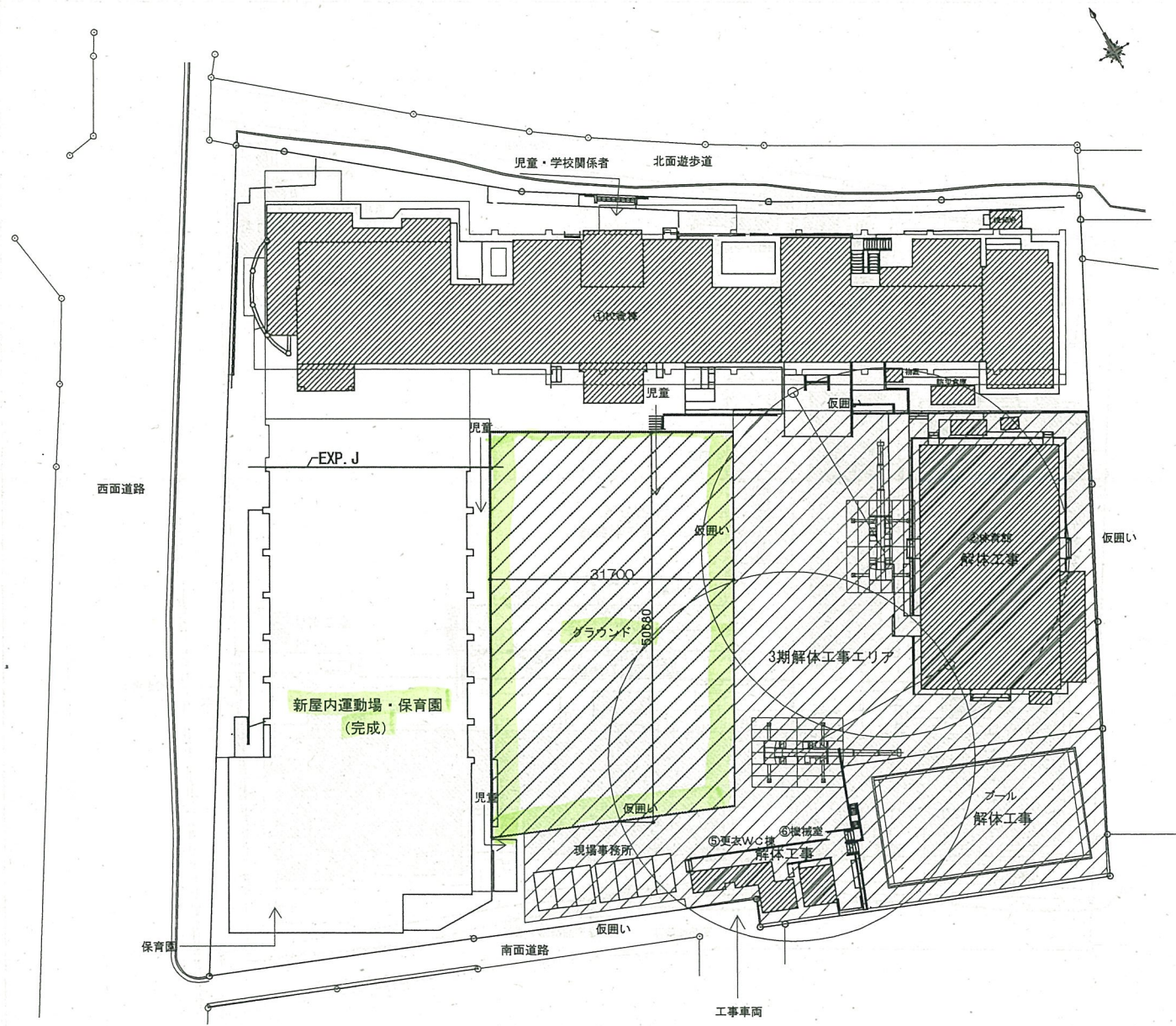
6-3.概略工事工程・建替え計画図(2)

③ 現プール・屋内運動場 解体工事 2022.01/01~2022.03/30 (期間3ヶ月)

④ 仮設校舎 建設工事 2022.04/01~2022.08/30 (期間5ヶ月)

- 児童・学校関係者の動線
- 工事車両・工事関係者の動線
- 工事エリア
- 工事対象施設
- ▨ 仮囲い(成形鋼板・ガードフェンス)
- 完成建物

- 児童・学校関係者の動線
- 工事車両・工事関係者の動線
- 工事エリア
- 工事対象施設
- ▨ 仮囲い(成形鋼板・ガードフェンス)
- 完成建物



全体工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	備考
各種検査(完了・清筋・仮使用・仮設建築等)							
既存校舎ほか解体撤去工事							
新屋内運動場・保育園建設工事							
仮設校舎建設工事							
仮設調理場							
仮設校舎建設・解体工事							
外構・グラウンド整備工事							
小学校							
保育園・児童クラブ							

